



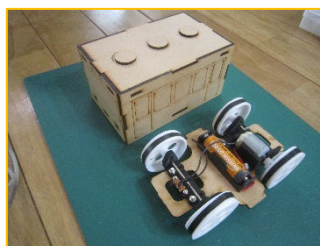
JR 後藤総合車両所一般公開への参加

令和7年11月8日(土) 株式会社 JR 西日本後藤テック様で“JR 後藤総合車両所一般公開”が開催されました。米子工業高校機械科のPRと学習のため、子ども向けおもちゃ「モーターカー製作」と銘打ってワークショップを実施するため参加しました。多くの来場者が来られる中、幼稚園児から小学校高学年の子どもたちが本校ブースに訪れました。



1. モーターカーとは・・・

機械科課題研究 Gr がイベントのために設計した、電車をモチーフとした走行可能のおもちゃです。マブチ130モーター、単三電池1本を使って、前輪を駆動させコミカルに走行します。また、ボディはt2.5のMDFをレーザーで切り、駆動系は3Dプリンタで製作しました。生徒が一丸となって安全に作りやすく楽しく走るものを作ろうと改良を重ねて完成しました。



2. 本校ワークショップの様子は・・・

本校生徒が米工ブースに訪れた子ども達に対し、直接モーターカー製作の指導をしました。生徒は、はじめ子ども達に対し緊張した様子で接し、作業方法を伝えるのに苦労していました。指導を何回か繰り返すにつれ、子ども達の目を見て様子をうかがいながら、上手に手ほどきするようになりました。子ども達は頭をひねらせながら一所懸命組み立てていました。完成後の満面の笑みが素晴らしいものでした。



3. 生徒の感想・・・(M3 生徒)

○今回の後藤テックでのイベントでは小さい子の目線に立って会話する重要性などを知りました。制作体験で小学生以下のお子さんにも来られていて解らないところや難しいところを子供の目線になって考え、どういう言葉使いなら伝わるのかを考える重要性を学びました。(青戸)

○準備が大変だから早めに動いておくべきであり、人に教えるのは難しいけど相手が笑顔になるとうれしいと思った。(小谷)

○はじめは子どもと話すのは緊張し、いろいろ手間取った。モーターカーに対する興味を持ってくれたので頑張って作ってよかった。子どものキラキラした目はとても嬉しい気持ちで胸がいっぱいになった。(清水)

○地域の子どもやその保護者の方に触れ合うことで、コミュニケーション能力や人と関わることの大切さ、教えることの難しさを学んだ。上手くいくこともあったけど、なかなかスムーズに進まないこともあって苦戦したけど、自分にとって良い経験になったと思う。(竹谷)



○小学生以下に説明をしたり教えたりすることはとても難しかったと感じた。最初は説明をなかなか上手くできなかったけど教えていくうちにだんだん上手になっていると自分でも実感した。車を実際に走らせてみたときにしっかり走ったら笑顔になって喜んでくれたのでやってよかったと感じた。今回の出店では子どもに教える楽しさを学べました。(山本)

4. JR 後藤総合車両所、(株) JR 西日本後藤テックとは・・・

JR 西日本後藤テックは、電車の検査・修理・改造を行う技術会社。溶接や機械加工などものづくりの力で鉄道の安全と快適さを支えています過去には本校の生徒も多数入社しており、活躍しています。(岩田顕作)